

原状回復費がふくらむ部屋 セルフ診断シート

ご自身の物件を思い浮かべて、あてはまるものにチェックしてください
チェックが付いた場所＝退去のたびに原状回復費がふくらみやすい場所です



A-1 洗面台と壁のあいだに、数センチの隙間がある

放置すると

掃除機も雑巾も届かず、埃や落下物がたまり続け、退去時の費用に跳ねます

今できる一手

隙間テープやコーキングで「物が落ちない・埃が入らない」状態にする



A-2 2階以上の窓の外側が、拭き掃除だけになっている

放置すると

水で流せないまま汚れが固着し、本来の仕上がりに戻らなくなります

今できる一手

無理は禁物。退去時にプロの手が入る前提で、予算に織り込んでおく



A-3 ベランダの防水が切れかけている（塗膜の剥がれ・ひび）

放置すると

水を流す掃除ができず、汚れではなく建物の劣化の問題に進みます

今できる一手

掃除でごまかさず、防水補修の可否を先に判断する



B-1 浴室の壁パネルやカウンターが、濃い色をしている

放置すると

水垢・石鹸カスが白く目立ち、清掃コストと内見の印象に響きます

今できる一手

交換のタイミングで、白系・クリーム系を選ぶ



B-2 窓のない浴室・トイレで、換気扇が止まっている時間が長い

放置すると

湿気がこもってカビが育ち、「落とす」ほうが高くつきます

今できる一手

換気扇は原則まわしっぱなしに（電気代より原状回復費が高い）

気になる項目があった方は、LINEで該当箇所の写真をお送りください。
無料でおおよその見立てをお返しします。